

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
償却原価法(定額法)によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品 定率法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
税込方式で処理している。
- (4) 各表の単位は円である。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	43,200,000	20,000,000		63,200,000
投資有価証券	20,007,000		20,007,000	0
小 計	63,207,000	20,000,000	20,007,000	63,200,000
特定資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	63,207,000	20,000,000	20,007,000	63,200,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち 負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	63,200,000	39,600,000	23,600,000	0
投資有価証券	0	0	0	0
小 計	63,200,000	39,600,000	23,600,000	0
特定資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	63,200,000	39,600,000	23,600,000	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	期末残高
什器備品 ノートパソコン	124,200	124,199	1
合 計	124,200	124,199	1

5. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし			
合 計	0	0	0

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
角膜移植普及啓発活動促進事業助成金	日本アイバンク協会	0	3,375	3,375	0	
アイバンクだより助成金	愛媛県共同募金会	0	100,000	100,000	0	
合 計		0	103,375	103,375	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 訳	金 額
経常収益への振替額 基本財産受取利息	199,960
合 計	199,960

以上